

ものづくり人材育成センター公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

項 目		内 容
1	日 時	令和7年5月23日 13時30分から15時30分まで
2	開催方法	オンライン（Zoom）
3	出席委員	・ 広島工業大学 情報学部情報マネジメント学科 教授 ・ 一般社団法人広島県情報産業協会 理事 ・ 中国経済産業局 総務企画部 参事官 ・ 広島県 商工労働局 イノベーション推進チーム 担当課長 ・ 公益財団法人ひろしま産業振興機構 （ものづくり革新統括センター（兼）デジタルイノベーション担当）常務理事 ・ 公益財団法人ひろしま産業振興機構 （企業支援統括担当）常務理事
4	議 題	次の令和7年度カイゼン・DX人材育成講座実施業務に係る最優秀提案者の選定 ①DX活用戦略及び生産性向上プランの作成 ②体験学習
5	担当部署	ものづくり革新統括センター ものづくり人材育成センター
6	議事内容	1 選定方法 提案書を基にプレゼンテーション及び質疑応答を行い、各選定委員が審査基準に基づき採点した。 2 選定対象者 ①の業務：株式会社ウフル ②の業務：i Smart Technologies 株式会社 3 選定結果 （1）主な質疑応答 ①の業務 （選定委員）DX活用戦略策定において、現地での経営課題分析と活用戦略検討については、実施時間を3時間としているが、時間内で実施することが可能なのか。 （株式会社ウフル）DX活用戦略の作成は、当日一からスタートではなく、初回の座学の際に、戦略策定に関するワークシートを作成してもらい、それをもとに進めていくため可能である。また、時間を3時間以上に伸ばしても、多忙な経営者の都合がつかないケースや、集中力の面でも継続が難しくなることから、3時間という時間で設定をしている。 ②の業務 （選定委員）体験学習において、アナログとIoTの比較を行うにあたり、具体的にはどのようなセンサーを用いて実施するのか。 （i Smart Technologies 株式会社）商品が完成するまでの時間「サイクルタイム」の測定をするにあたり、アナログはストップウォッチ、IoTは磁気センサー、光センサーを用いて行う予定である。2つの方法でサイクルタイムを測定し、その比較を行う。 （2）最優秀提案者に選定した者 ①の業務：株式会社ウフル ②の業務：i Smart Technologies 株式会社 （3）選定理由 ①、②のそれぞれ業務について、選定委員の評価点の合計が満点の6割を超えており、最優秀提案者に選定することに選定委員から異論がなかったため。 ※ 評価値については、別紙「公募プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり